



吹田市立山田第三小学校

学校だより 4月号②

令和5年4月27日発行

TEL 06-6877-5701 FAX 06-6877-5708

URL: <http://www.suita.ed.jp/gak/es/22-yamada3/>



本校の教育

学校教育目標

自らの力で未来を拓く

一学ぼう・感じよう・つながろう

教育方針

1. 学ぶ意欲を高め、確かな学力の定着を図る。
2. 自尊感情を高め、豊かな感性をもって生き抜く子どもの育成を図る。
3. 互いの人権を尊重し、豊かな人間関係を築く子どもの育成を図る。

学び

チャレンジ! わかる喜びできる楽しさ

大好きな私 大切なあなた
自尊感情

認め合い 伝え合って 仲間たち
コミュニケーション

めざす子ども像

1. 自ら学び、深く考え、最後までやり抜く子
2. 自他の良さに気づき、互いに認め合い、
自他ともに大切にできる子
3. 相手の気持ちを思いやり、人と協力できる子

令和5年度 スローガン

「つながろう学校」

学力向上

〈授業研究テーマ〉 「自ら課題をもって主体的・意欲的に学ぶ子の育成ー『やりたい!』があふれる学校づくりー」

○算数科を中心に、主体的に学ぶ姿勢を育む授業の実現に向けて、子どもの「やりたい!」を引き出す授業をめざします。

○子ども一人ひとりが自ら課題と向き合い、考える中で、友達と関わり合いながら、その解決にむけて、互いに学び合い高め合える授業をめざします。

人権教育

〈テーマ〉 「共に学び、共に育つ」

○人権意識を高め、身の回りにある様々な問題に気づき、考え、解決に向けて共に生きていく子どもの育成をめざします。

○学校体制としての特別支援教育の確立をめざします。

○互いを尊重し合える「仲間づくり」をめざします。

生活指導

〈テーマ〉 「自分大好き、友だち大好き、学校大好き」

○子どもたち一人ひとりの個性を伸ばし、社会的な資質や能力・態度を育てます。

○子どもたちが健全で規律ある学校生活を送ることで、「学校が楽しい」という気持ちを育てます。

「やまさんセブンー学校が楽しくなる7つの☆ー」

☆自分からあいさつ、元気にへんじ ☆最後まで話を聞こう ☆ものを大切に

☆ろうかはあるく ☆勉強するふでばこ ☆チャイムでスタート! ☆外で遊ぶ

生活指導は、学校だけでできるものではありません。保護者の方と共通理解をもって、規範意識を育てるとともに、いじめや問題行動の未然防止に努めていきたいと思ひます。



特別支援教育

○支援学級「あらぐさ」ってどんなところ? ~粗草のようにたくましく~

山田第三小学校には、「あらぐさ学級」という支援学級があります。「粗草のように心も体もたくましく成長してほしい」という願いで作られた学級です。どの子にもその子にしかない良さを持っています。あらぐさ学級では、その良さを大切に自立に向けて一人ひとりの実態に合わせた支援を行っています。

一人ひとりのニーズに応じた支援の方法として①通常学級での個別指導(入り込み)、②支援学級での個別指導(抽出)、③支援学級での課題別小集団指導があります。

また、週一回の自立活動(あらぐさタイム)では、小集団の中で自分を表現し、自信がもてるように言語活動(スピーチ)・体づくり・ものづくりに取り組んでいます。そして、通常学級でクラスの一員として友達といっしょに楽しく学校生活を送れるように見守っています。

このような支援教育は、あらぐさ学級に在籍している児童だけでなく、全ての児童一人ひとりの教育的ニーズに応じて学校全体で行っています。また、保護者の理解を得て連携をとりながら進めることを大切にしています。

そのため、山第三小学校には、「特別支援教育コーディネーター」という教諭がいます。コーディネーターは、通常学級に在籍している支援の必要な児童の様子を把握し、支援の方法内容を考える役割をしています。また、福祉、医療機関との連絡・調整を行い、保護者からの相談を受けています。何かお子さんについて気になることがありましたら、どうぞ学校(担任)までご連絡ください。

○通級指導教室があります

この教室は、話す・聴く・書く・読むといった言語に課題があったり、緘黙(かんもく)などの情緒の課題があったり、また、発達に課題があったり、弱視、難聴などの障がいがあったりする児童が、通常学級に在籍したまま、特別な時間に、特別な指導を受けることができる教室です。通級教室担当の専門の職員が常駐し、子どもの特性とニーズを考慮し個別の指導計画を作成し、個別指導を行います。また、通常学級で必要な具体的な支援について、担任に指導助言するなどの連携も図っていきます。

